

## (7) 三重県観光キャンペーンについて

## 1 県内の周遊性・滞在性を高める取組

観光客の県内での周遊性、滞在性を向上させ、県内各地の魅力に触れていただくことで、三重ファン、リピーターの獲得を目指し、「みえ旅パスポート」の発給や、県内、道の駅はじめ、宿泊施設等様々な施設に対して、「みえ旅案内所」及び「みえ旅おもてなし施設」への協力を働きかけています。



## (1) みえ旅パスポート

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 2 月 23 日までのパスポートの発給状況

発給数(全体)	178,294 件
ファーストパスポート	155,015 件
セカンドステージ	18,415 件
プレミアムステージ	4,864 件
プレミアム達成者数	1,748 名

## (2) みえ旅案内所

みえ旅案内所について、当初の 64 施設が 87 施設に増加(2月23日現在)

みえ旅案内所設置一覧表(県内)

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	合計
観光案内所	4	2	8	4	1	19
観光協会	1	1	1	0	1	4
道の駅	2	3	1	2	5	13
その他	7	20	6	9	6	48
合計	14	26	16	15	13	84



※ 県外 10月10日～ 首都圏営業拠点「三重テラス」(東京都)

12月1日～ 関西事務所(大阪府)、桜通りカフェ(名古屋市)

## (3) みえ旅おもてなし施設

みえ旅おもてなし施設について、当初の 647 施設が 839 施設に増加(2月23日現在)

みえ旅おもてなし施設一覧

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	合計
飲食施設	134	97	56	24	13	324
宿泊施設	27	27	74	14	10	152
物販等施設	57	38	57	22	9	183
観光施設	15	18	17	11	3	64
その他	39	35	25	10	7	116
合計	272	215	229	81	42	839



## 2 官民一体となった情報発信

### (1) 交通事業者等と連携した情報発信

中日本高速道路、三重交通、東海旅客鉄道、近畿日本鉄道、中部国際空港等と連携し、県内外でおもてなしの意も込め、観光客に周遊の促進及び再来訪を訴求する広報宣伝を展開しています。

#### 《中部国際空港》

中部国際空港及び愛知県、岐阜県、名古屋市と連携し、セントレア就航地（福岡県、鹿児島県）において、各新聞社訪問、三重県観光キャンペーンのPRを実施

(福岡)

- 日時 平成26年1月23日（木）～25日（土）
- 場所 西鉄福岡天神駅北口コンコース内「ときめきひろば」

(鹿児島)

- 日時 平成26年2月14日（金）～16日（日）
- 場所 鹿児島市天文館地区天神おつきや商店街「びらも～る」

#### 【福岡PR会場】



2014.1.24 西日本新聞〔朝刊〕

「中部国際空港使って  
戦国武将と天神でPR  
きょう、あすイベント  
中部国際空港（愛知県）  
発着の福岡利用を促進し  
ようと、名古屋と三重県、  
岐阜県でつくる観光宣伝  
が20日、福岡市・天神の西  
日本新聞社を訪れ、冬の観  
光をPRした。写真 24

25日には西鉄福岡（天神）  
駅コンコースで、「生うい  
ろ」や「密しめん」と  
いった特産品を販売するイ  
ベントがある。  
名古屋では復元工事中  
の名古屋城本丸御殿を一部  
公開中。三重県の熊野古道  
は7月に世界遺産登録10  
周年を迎える。北アルプス  
の麓にある岐阜県の奥飛  
騨温泉郷は、雪景色の中  
で露天風呂が楽しめるとい



う。  
宣伝は、岐阜県のキャ  
ラクター「ミナモト」や戦国  
武将の加藤清正に扮した武  
士隊ら。「戦国時代は船で  
旅したゆえ難儀したが、今  
や福岡は近い存在。空路も  
快適でよかった」と、同空  
港の利用を呼びかけた。

- 記事掲載  
西日本新聞  
毎日新聞  
朝日新聞

### (2) 企業等と連携した情報発信

県内各企業と連携し、キャンペーンロゴマークを活用したPR等を展開しています。

#### ①平治煎餅（有限会社平治煎餅本店）

有限会社平治煎餅と連携し、ロゴマーク焼印付福引せんべい（キャンペーンオリジナルグッズ入り）を商品化し販売



- ・商品名 三重県観光キャンペーン  
オリジナルフォーチュン（福引）せんべい
- ・特徴 三重県観光キャンペーンロゴマーク焼印付、  
通常の内容物（既存の福引内容物）＋三重県  
観光キャンペーンオリジナルグッズ入り
- ・販売価格 （小）700円（通常価格通り）
- ・販売場所 直営店3店舗＋津駅チャム1階津銘菓
- ・受注個数 500個（当初販売予定：200個）



## ②伊藤園

株式会社伊藤園において、三重県観光キャンペーン『～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～』の連動企画として、「伊勢神宮～日帰り参拝バスツアー～ご招待キャンペーン」を実施

- キャンペーン対象店舗 愛知県内の伊藤園商品取扱い店舗
- 応募期間 平成25年11月1日（金）～平成26年1月10日（金）
- 実施日 平成26年2月16日（日）
- 当選者 100組（200名）



## ③八千代工業

大阪アウトドアフェスティバル及び名古屋キャンピングカーフェアにおいて、サイド面へキャンペーンロゴマークをラッピングしたキャンピングカー（Honda N-BOX+）を展示

※ロゴマーク以外の本県に関するイラストを表示

- |               |          |
|---------------|----------|
| ○「三重テラス」ロゴマーク | ○松阪牛・伊賀牛 |
| ○三重県章         | ○三重県図    |
| ○海女           | ○夫婦岩     |
| ○伊勢海老         | ○熊野古道伊勢路 |
| ○忍者           |          |

## 【展示予定期間】

### 第21回大阪アウトドアフェスティバル 2014

期間 平成26年3月8日（土）～9日（日）

主催 アウトドアフェスティバル実行委員会・テレビ大阪

会場 インテックス大阪（大阪府大阪市住之江区南港北1丁目5-102）

前回実績 来場者数：34,623人

### 名古屋キャンピングカーフェア 2014 Spring

期間 平成26年3月15日（土）～16日（日）

主催 名古屋キャンピングカーフェア実行委員会

会場 ポートメッセなごや3号館（名古屋市港区金城ふ頭）

前回実績 来場者数：31,450人

## 【車輛イメージ】



## （3）三重県観光交流会

首都圏のメディア等に対し、三重県の旬の観光情報や「三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～」の企画等を発信することで、本県の観光資源の豊富さや奥深さを実感していただくとともに、交流を深め、今後の継続的な情報発信につなげるため、ロイヤルパークホテル（東京・日本橋）で三重県観光交流会を開催しました。

■日時 平成26年1月31日（金）

■場所 ロイヤルパークホテル（日本橋）

■テーマ 三重の森の恵み

### <実施概要>

第1部 トークセッション等

① 講演「神宮の森」 神宮司庁広報課 音羽悟氏

② トークセッション「三重の森の恵み」

トーカー 稲田美織氏（写真家）、

加藤紀子氏（タレント、みえの国観光大使）

福元ひろこ氏（文筆家）

矢口史靖氏（映画監督）

コーディネーター 三重県知事 鈴木英敬



## 第2部 交流会

### ① 交流会

### ② ミニステージ

- ・皇女の都・齋宮体験
- ・紙芝居「おかげ参り犬シロ公の旅日記」
- ・伊賀の魅力発見～芭蕉・忍者・食～
- ・「幸結びの路」熊野古道の幸おすそ分け

### ③ 「BAR三重」にて、地酒・みかんジュースの提供

### ④ ホワイエ展示

- ・熊野古道伊勢路 写真家森武史氏のパネル展示
- ・映画「WOOD JOB!」の小道具等展示
- ・三重県総合博物館「Mi eMu」の展示

出展団体数 44 団体 (昨年 41 団体)

市町長の参加 伊賀市長、熊野市長、南伊勢町長

参加者 テレビ、ラジオ、新聞社、旅行関係雑誌社、旅行会社等 343 名  
(昨年 318 名)



トークセッション



交流会①



交流会②

## 3 広域連携（島根県・奈良県との連携）

遷宮や古事記・日本書紀など共通テーマを有する島根県や奈良県と、首都圏はじめ大都市圏を中心に連携事業や共同PRを展開しています。

### (1) メディア向け観光情報説明会等への相互乗り入れ

#### ○三重県観光情報提供会（奈良県・島根県参加）

平成 25 年 7 月 10 日（水） 大阪・ハートンホテル北梅田

平成 25 年 7 月 18 日（木） 名古屋三交ビル

平成 26 年 1 月 31 日（金） 東京・ロイヤルパークホテル

#### ○島根県観光情報説明会（三重県参加）

平成 25 年 8 月 7 日（水） 東京・ビジョンセンター日本橋

平成 25 年 10 月 7 日（月） 東京・都道府県会館

平成 26 年 2 月 13 日（木） 東京・ロイヤルパークホテル

## (2) シンポジウム会場における共同PR

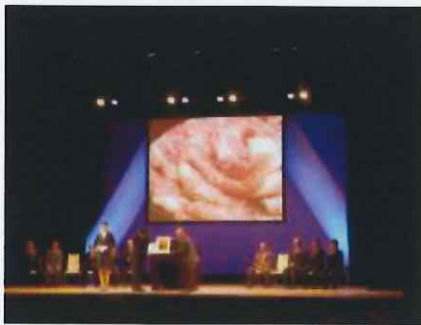
- 古代歴史文化賞決定記念シンポジウム（主催：島根県 参加者約 900 名）  
平成 25 年 11 月 17 日（日） よみうりホール
- 首都圏記紀シンポジウム（主催：奈良県 参加者約 700 名）  
平成 26 年 1 月 18 日（土） 日本教育会館一ツ橋ホール

## (3) セミナー・講座の共同開催（島根県）

- 日本橋神話プロジェクト 参加者 25 名  
三重テラスでの全 5 回の講座+フィールドワーク各 1 回
- 首都圏連携講座 参加者 延べ 933 名  
ビジョンセンター日本橋（8 回）三重テラス（4 回）
- 東海大学オープンカレッジ 参加者 41 名  
テーマ：「古事記」神話の舞台を旅する

## (4) その他の共同PR（島根県）

- 名古屋桜通りカフェでの「縁結び神話カフェ」来店者 1,524 名  
平成 25 年 10 月 18 日～11 月 2 日
- JR 西日本（トワイライトエクスプレス）と近鉄（しまかぜ）で行く  
伊勢・出雲参拝ツアー  
第 1 弾 平成 25 年 10 月 9 日～10 日 参加者 74 名  
伊勢・JR 京都駅等でのおもてなしイベント  
第 2 弾 平成 26 年 1 月 29 日～30 日 参加者 45 名  
神宮会館等でのおもてなしイベント



古代歴史文化賞決定記念シンポジウム



首都圏記紀シンポジウム



首都圏連携講座



縁結び神話カフェ



#### 4 その他

##### (1) 第2回おもてなしセミナー

県内の観光案内に携わる方々が、来訪者と快適な関係を築き、来訪者に再び三重を訪れたいと思ってもらえるような「おもてなし」の心を育むため、三重県立総合文化センターでおもてなしセミナーを開催しました。

- 日時 平成26年2月13日(木) 13時30分～15時30分
- 対象 みえ旅案内所、各市町、各観光協会、観光事業者 等
- 内容

- 講演 演題：「熊野古道の魅力について」  
講師：三石 学 氏  
(熊野古道語り部の会・熊野市職員)
- 熊野古道世界遺産登録10周年記念事業
- 三重県観光キャンペーンの取組状況



##### (2) 「実はそれ、ぜんぶ三重なんです～三重おかげさま講座～」

平成25年12月～平成26年3月にかけて、三重県の首都圏営業拠点「三重テラス」において、「実はそれ、ぜんぶ三重なんです～三重おかげさま講座～」を開催し、三重県の深い魅力を伝えることで、旅の動機付けを行いました。

- 第3回 日時 平成26年2月10日 19時～20時30分
- 講師 松尾 たいこ 氏 (イラストレーター)
- 内容 伊勢 I S E で幸せ開き

私が感じた伊勢神宮の魅力～

《講師：今後の予定》平成26年3月5日(水) 中野晴生氏 (写真家)



##### (3) 桜通りカフェ・三重県フェア「みえの春旅&春ドライブ♪」の開催

三重の観光営業拠点運営協議会では、中京圏において三重県の旬の観光情報を発信し、県内への誘客を促進するため、名古屋市内の桜通りカフェで三重県フェア「みえの春旅&春ドライブ」を開催しました。

■開催期間 平成26年2月10日(月)～2月22日(土)

##### ■実施内容

- ・梅、桜などのお花見スポットと同時期に開催されるイベント紹介
- ・ナバナ、タケノコ、イチゴなど春の食材を使用したカフェメニューの提供や物産品の販売

- ※ 第二弾として、3月24日(月)から4月5日(土)まで、花菖蒲、ツツジ、サツキ、アジサイなどのお花見スポットと関連イベント等を紹介しながら同フェアを開催予定



#### (4) くまモンが伊勢にやってくるモン!

人気キャラクター“くまモン”が伊勢市を訪問し、ご当地キャラクターとのコラボレーションによる楽しいイベントを実施しました。

- 開催日時：平成 26 年 3 月 1 日（土）10 時～、11 時 30 分～（各 30 分間）
- 場所：J R 東海伊勢市駅前広場
- 内容：三重県知事、伊勢市長及び伊勢志摩のご当地キャラがくまモンをお出迎えし、くまモンと一緒にくまモン体操を踊ったり、フォトセッションを行いました。





# 三重県景気動向調査 中間報告書

平成 26 年第 1 回(1~3 月期)



三重県雇用経済部

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ 津支店

## 目 次

I. 調査要領.....	1
II. 調査結果の概要.....	2



## I. 調査要領

1. 調査時点：平成 26 年 2 月（前期＝25 年 10～12 月、今期＝26 年 1～3 月、来期＝26 年 4～6 月（予測））
2. 調査対象：三重県内の事業所 1,500 社
3. 調査方法：郵送によるアンケート調査
4. 回答状況：459 件（有効回答率 30.6%）
5. 調査企業の業種別、従業員規模別、地域別内訳

### 【業種別】

	件数 合計	製造業	建設業	運輸業	情報 通信業	卸・小売業	金融・ 保険業	サービス業
調査対象数	1500	501	151	89	29	362	24	344
回答数	459	159	50	32	4	93	13	108
構成比(%)	100.0	34.6	10.9	7.0	0.9	20.3	2.8	23.5

### 【従業員規模別】

	件数 合計	5 人未満	5 人以上 20 人未満	20 人以上 50 人未満	50 人以上 100 人 未満	100 人以上 300 人 未満	300 人以上 500 人 未満	500 人以上 1000 人 未満	1000 人 以上
調査対象数	1500	301	568	252	127	151	46	29	26
回答数	459	58	133	99	66	64	24	5	10
構成比(%)	100.0	12.6	29.0	21.6	14.4	13.9	5.2	1.1	2.2

### 【地域別】

	件数 合計	津	四日市	松阪	伊勢	桑名	鈴鹿	伊賀	尾鷲	熊野
調査対象数	1500	200	345	193	229	174	174	121	44	20
回答数	459	66	102	66	62	55	62	30	8	8
構成比(%)	100.0	14.4	22.2	14.4	13.5	12.0	13.5	6.5	1.7	1.7

地域名	対象市町	地域名	対象市町
津	津市	鈴鹿	鈴鹿市・亀山市
四日市	四日市市・菟野町・朝日町・川越町	伊賀	伊賀市・名張市
松阪	松阪市・多気町・明和町・大台町	尾鷲	尾鷲市・紀北町
伊勢	伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・ 南伊勢町・度会町・大紀町	熊野	熊野市・御浜町・紀宝町
桑名	桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町		

### 【注】

○構成比(%)については、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

○数値の前に付した△は「マイナス」を表しています。

ODI (Diffusion Indexの略)

DI (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて変化の方向をみようとするものです。

なお、「仕入価格 DI」については、「低下」から上昇を引いた値、「雇用（人員過不足感）DI」、「在庫 DI」については、「不足」から「過剰」を引いた値を使用しています。

●平成 23 年 7～9 月以降の数値は、不明回答を除く回答結果で算出しておいているため、平成 24 年 5 月調査以前の公表結果とは一致しません。

## II. 調査結果の概要

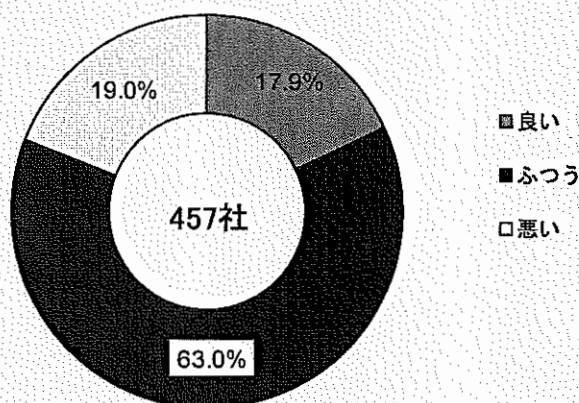
### 1. 景況感

「今期（平成 26 年 1～3 月）の県内景気」の水準について、「良い」は 17.9%、「ふつう」は 63.0%、「悪い」は 19.0%となっています。

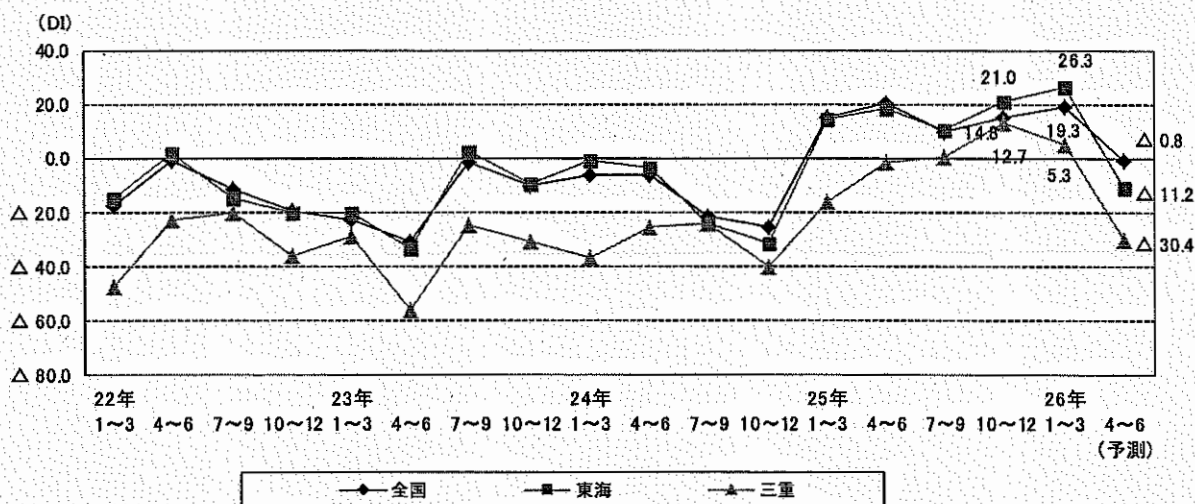
前期（平成 25 年 10～12 月）と比較した「県内景況感 DI」は、今期はプラス 5.3 ポイントで、前期より 7.4 ポイント下降し、好調感が大きく縮小しています。来期はマイナス 30.4 ポイントと今期より 35.7 ポイント下降し、非常に厳しさを強めると見込まれています。

内閣府『景気ウォッチャー調査』の全国と東海地方の景況感（1月調査）をみると、全国は 4.5 ポイント上昇のプラス 19.3 ポイント、東海は 5.3 ポイント上昇の 26.3 ポイントといずれも若干上向いています。先行きの見通しは、全国、東海ともに非常に厳しさを強めると見込まれています。

今期の県内景気(水準)



県内景況感 DI(前期比)と全国・東海地方の景況感



	22年	22年	22年	22年	23年	23年	23年	23年	24年	24年	24年	24年	25年	25年	25年	25年	26年	26年
	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6
三重県	△ 47.6	△ 23.2	△ 20.3	△ 36.0	△ 29.2	△ 56.0	△ 25.3	△ 31.3	△ 37.1	△ 25.5	△ 24.0	△ 40.3	△ 16.2	△ 1.5	△ 0.7	△ 12.7	△ 5.3	△ 30.4
全国	△ 17.9	△ 0.7	△ 11.4	△ 19.4	△ 22.7	△ 30.7	△ 1.8	△ 10.4	△ 6.2	△ 6.4	△ 21.7	△ 25.7	15.2	20.5	9.4	14.8	19.3	△ 0.8
東海	△ 15.0	1.3	△ 14.7	△ 20.2	△ 20.1	△ 33.7	2.2	△ 10.0	△ 0.8	△ 3.9	△ 24.3	△ 31.8	14.6	18.5	10.0	21.0	26.3	△ 11.2

※景況感 DI=前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値。

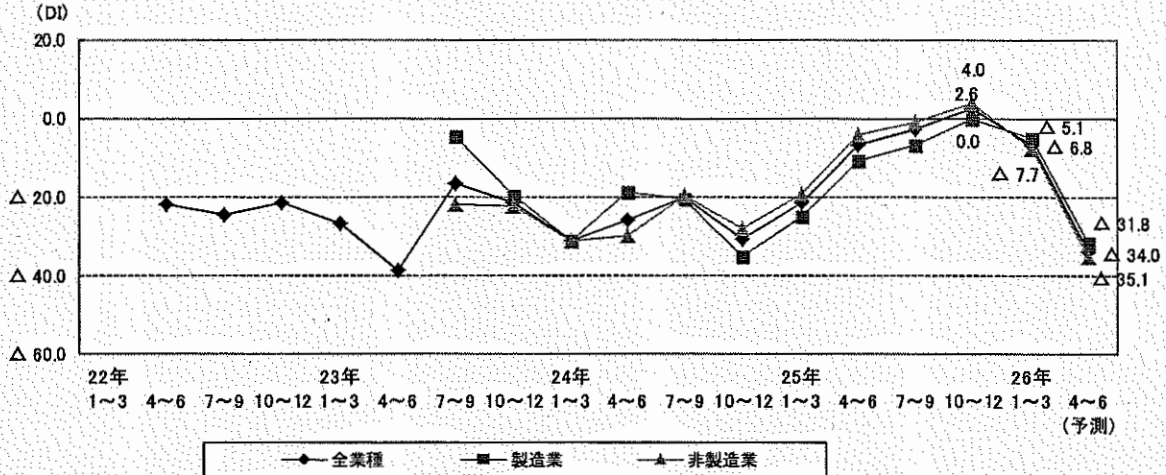
※「全国」および「東海地方」は、内閣府『景気ウォッチャー調査』の月々の結果を当調査で使用している方法で再計算し、3ヶ月ごとに平均値を算出。なお、直近の値は1月調査の値である。



## 2. 業況 DI

自社の業況についてみた「業況 DI」(前期比)は、全業種でマイナス 6.8 ポイントとなり、前期から 9.4 ポイント下降と大きく水面下に落ち込みました。来期はマイナス 34.0 ポイントと非常に大きく悪化傾向が強まると予想されています。製造業はマイナス 5.1 ポイントと前期から 5.1 ポイント下降し、非製造業はマイナス 7.7 ポイントと前期から 11.7 ポイント下降と、大きく悪化に転じました。製造業、非製造業ともに、来期は非常に深刻さを増すと予想されています。

業種別業況 DI(前期比)の動き(実績)と来期の予測



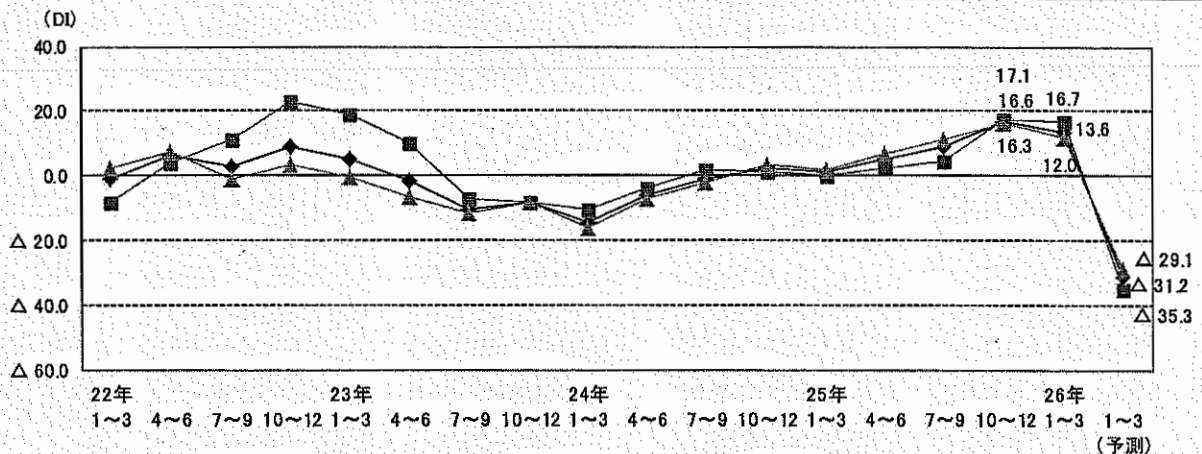
	22年				23年				24年				25年				26年		4~6
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	(予測)	
全業種		△ 21.9	△ 24.5	△ 21.5	△ 26.9	△ 39.1	△ 16.6	△ 21.7	△ 31.3	△ 26.1	△ 20.2	△ 30.8	△ 21.4	△ 6.7	△ 3.1	2.6	△ 6.8	△ 34.0	
製造業							△ 4.5	△ 19.8	△ 31.3	△ 18.8	△ 20.7	△ 35.4	△ 25.0	△ 10.9	△ 7.1	0.0	△ 5.1	△ 31.8	
非製造業							△ 22.1	△ 22.5	△ 31.3	△ 29.9	△ 19.8	△ 28.3	△ 19.5	△ 4.3	△ 1.0	4.0	△ 7.7	△ 35.1	

※業況 DI=前期比で、自社の業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値。

## 3. 収益 DI

「収益 DI」は、全業種で今期はプラス 13.6 ポイントとなり、前期から 3.0 ポイント下降しました。来期はマイナス 31.2 ポイントと非常に大きく下降し、増加から減少に転じる見通しです。今期、製造業はプラス 16.7 ポイントとほぼ前期並の水準で推移し、非製造業はプラス 12.0 ポイントと、やや前期を下回りました。来期は製造業がマイナス 35.3 ポイント、非製造業がマイナス 29.1 ポイントと予想されています。

業種別収益 DI の動き(実績)と来期の予測



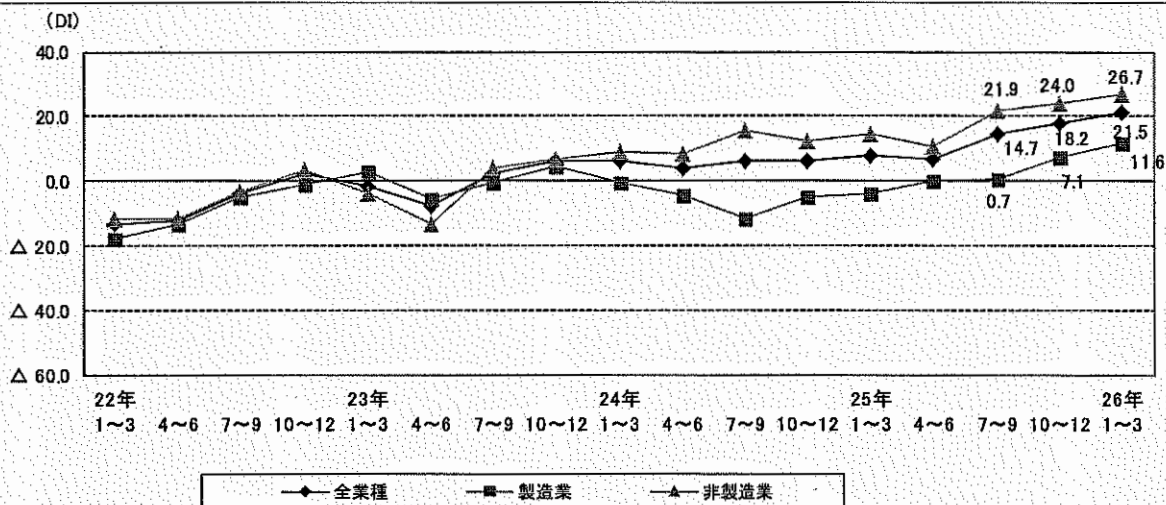
	22年				23年				24年				25年				26年		4~6
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	(予測)	
全業種	△ 0.9	6.3	2.8	8.9	4.9	△ 1.8	△ 10.4	△ 8.1	△ 14.3	△ 6.1	△ 0.8	2.4	1.2	5.0	8.9	16.6	13.6	△ 31.2	
製造業	△ 8.3	4.1	11.4	23.0	18.8	10.3	△ 7.2	△ 8.2	△ 10.7	△ 3.8	1.7	1.1	0.0	2.3	4.6	17.1	16.7	△ 35.3	
非製造業	2.1	7.3	△ 0.8	3.4	△ 0.4	△ 8.6	△ 11.9	△ 8.1	△ 15.9	△ 7.4	△ 1.9	3.2	1.7	6.6	11.1	16.3	12.0	△ 29.1	

※収益 DI=収益が「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値。

#### 4. 雇用(人員過不足感)DI

「雇用(人員過不足感)DI」は全業種でプラス21.5ポイントとなって、前期から3.3ポイント上昇し、不足感が3期連続で強まりました。製造業はプラス11.6ポイント、非製造業はプラス26.7ポイントとともに不足感がやや強まりました。

業種別雇用の動き(実績)と来期の予測



	22年 1~3	22年 4~6	22年 7~9	22年 10~12	23年 1~3	23年 4~6	23年 7~9	23年 10~12	24年 1~3	24年 4~6	24年 7~9	24年 10~12	25年 1~3	25年 4~6	25年 7~9	25年 10~12	26年 1~3
全業種	△13.4	△12.3	△3.7	2.2	△1.7	△8.0	2.3	6.2	6.2	4.0	6.3	6.1	8.1	6.8	14.7	18.2	21.5
製造業	△17.7	△13.4	△4.7	△1.0	3.1	△5.8	△0.7	4.5	△0.7	△4.4	△11.8	△4.9	△4.0	0.0	0.7	7.1	11.6
非製造業	△11.7	△11.8	△3.2	3.5	△3.6	△13.4	3.7	7.0	9.2	8.4	15.5	12.4	14.5	10.7	21.9	24.0	26.7

※雇用(人員過不足感)DI=今期の人員が「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値。

#### 5. 要約

前期と比べた県内景況感DIは、個人消費や雇用情勢で改善の傾向がみられるものの、好調感は大きく鈍化しています。来期は消費税増税の影響などから、非常に厳しさを強める見通しとなっています。

業況DIについては、今期は水面下に落込み、来期はさらに悪化幅が非常に大きく拡大すると予想されています。業種別にみると、今期は金融業で良化傾向がみられ、建設業、卸・小売業は前期並の水準で推移し、製造業、運輸業では悪化傾向を強め、サービス業も大きく悪化に転じました。来期については、さらに厳しさを増すと予想されています。

雇用DIは不足感が前期に続き強まりました。来期はさらに不足感が増すものと予想されます。